

## 第24回 エックス線被ばく事故検討WG 議事概要

1. 開催日時：2023年2月28日（火）午前9時00分～11時00分
2. 開催場所：Zoom を用いたオンライン開催
3. 出席者：（順不同、敬称略）  
飯本武志、古渡意彦、山口一郎、榎本 敦、小田啓二、川島恒憲、中村美和、浜田信行、福土政広、笠井 篤、橋本 周、高橋賢臣、秋吉優史、阪間 稔、五十嵐悠
4. 紹介資料  
資料1 第23回エックス線被ばく事故検討WG 議事概要（案）
5. 議事
  - (1) 各分科会の進捗状況の確認
    - 1) 山口幹事より、第3分科会の進捗状況について説明がなされた。
      - 第3分科会としての成果物の骨子が紹介された。
      - 委員から以下の意見・質問があった。
        - ◇論点がよくまとまっており、新たな項目や解説を付け加える必要はないのではないか。
        - ◇外部への公開方法については学会誌への投稿にこだわらず、現状のPPTのままでも良いのではないか。
        - ◇被ばく事故に伴う線量評価結果の情報開示のあり方については、さらなる議論が必要ではないか。
        - ◇IAEA への日本政府からの情報提供に関して、背景と現状を明確にした上で、論点を示したほうがよいのではないか。
        - ◇報告書全体について、学会としての見解にするか、WGとしての見解にするかの調整が必要ではないか。
    - 2) 飯本委員長より、第1分科会の進捗状況について説明がなされた。
      - 活動報告案の具体的内容と今後の流れについて紹介され、詳細について分科会内で引き続き議論することとなった。
    - 3) 古渡副委員長より、第2分科会の進捗状況について説明がなされた。
      - 活動報告案の具体的内容について紹介された。
      - 委員から以下の意見・質問があった。
        - ◇日鉄事故についてより具体的に触れるべきではないかという意見があり、第3分科会によるまとめに入れる方向で、対応することとなった。
  - (2) 活動報告の公開方法について
    - 報告書の公開について考える方法2案が提示され、第3分科会の報告書をWG全体の報告書とする案ではなく、3つの分科会のまとめの文書を束ね、WG全体の報告書とする方向で承認された。
    - 委員から以下の意見・質問があった。
      - ◇第3分科会についても投稿論文として公開するべきではないか。

◇総括的な文章も作成し、3つの文書の冒頭で示すべきではないか。

(3) その他

- ・ 報告書完成に検討が必要な積み残しの案件については、引き続き事務局を中心にメール等で各委員と調整しつつ、とりまとめ等の作業を進めることになった。
- ・ 第23回WGの議事要旨を確認し、原案のまま承認された。

以上